

会 議 録（概要）

会議の名称	令和6年度 第1回 佐渡市歴史的風致維持向上協議会
開催日時	令和6年5月22日（水）13:30 ～ 15:30
場所	きらりうむ佐渡 講堂
議題	議事 （1）令和5年度 進行管理・評価について （2）令和6年度の事業計画について （3）その他
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	<委員> 会長 岡崎篤行 委員（学識経験者） 副会長 小林祐玄 委員（関係団体） 木村 勉 委員（学識経験者）、新発田靖 委員（関係団体）、 山本尚代 委員（関係団体）、岩崎伸作 委員（関係団体）、 澁谷有子 委員（行政機関）、安藤善紀 委員（行政機関）、 弾正成子 委員（地域代表）、萩野正作 委員（地域代表）、 三木 緑 委員（地域代表）、山本雅明 委員（市職員） <事務局> 世界遺産推進課 課長 正治 敏、係長 坂下 肇、主任 市川 守、 主任 井藤博明、主任 若林篤男、学芸員 大豆生田咲春 観光振興課 課長補佐 小西 淳、主任 日下智史 建築住宅課 課長補佐 古屋野知規 社会教育課 佐渡学センター 係長 相田好彦
会議資料	資料1 令和5年度進行評価・管理シート 資料2 令和6年度佐渡市歴史的風致維持向上計画事業一覧 資料3 令和6年度佐渡市歴史的風致維持向上計画事業個別 別紙1 佐渡市歴史的風致維持向上計画について 別紙2 「佐渡島の金山」世界遺産登録について 別紙3 小木町伝統的建造物群保存地区の状況について
傍聴人の数	3名（うち報道2社）

備考	
----	--

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
坂下係長	皆さま、お疲れさまです。 佐渡市世界遺産推進課文化財室文化財保護係の坂下です。 定刻になりましたので、只今より佐渡市歴史的風致維持向上協議会の第1回会議を始めます。会長選任までの間、司会を務めますので、よろしくお願いします。 はじめに観光振興部世界遺産推進課長の正治から、ご挨拶を申し上げます。
正治課長	こんにちは。皆さま方、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃より当市の文化財保護行政につきまして、ご支援ご協力を賜りますことを、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。 さて本日は、委員の任期が本年3月末をもって満了し、改めて選任をさせていただいたところです。選任にあたりましてはご快諾いただきましたことも、改めて御礼を申し上げます。 さて、本協議会の目的は、計画原案の作成、それにとまなう事業の進捗管理、この2点を主に考えております。地域の皆さま方がこれまでの間、守り抜いて来た文化財の他、伝統的な町並みや景観を保存し活用することを目指して計画を現在進めているところです。 本日は、これまで進めてきた計画について、委員の皆さま方それぞれの立場から、限られた時間ではございますがご意見ご指導賜ればと思っております。 また、小木の重伝建と世界遺産の状況について少しお話をさせていただきます。小木町の重伝建については、先般、新聞報道があったとおり、国から答申がありました。その後、時期はまだ確定しておりませんが、国の官報告示を受けて正式重伝建選定が決まります。また、世界遺産登録については、一応、6月上旬くらいにイコモスから勧告が出されます。4段階評価がございましたが、記載の評価をいただければ、7月21日から31日の間、インドのニューデリーで行われる世界遺産委員会で登録の可否が審議され、晴れて「佐渡島の金山」が世界遺産登録という運びになる予定ですので、その際にはまた皆さま方と一緒に喜びを分かち合えればと思っております。よろしくお願いします。 では、本日は短い時間ではありますが、忌憚のないご意見等いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

坂下係長	本日新たにご参加される委員もいらっしゃいますので、委員の皆さまから、自己紹介をお願いします。その後、事務局も4月の人事異動で体制が変わりましたので職員の紹介をいたします。それでは、岡崎様の方から時計回りで、委員の皆さま自己紹介をお願いします。
委員	【委員自己紹介】
事務局	【事務局自己紹介】
坂下係長	それでは、議事に入る前に、協議会の会長の選出をお願いします。 佐渡市歴史的風致維持向上協議会条例第4条第1項に、「協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。」と規定されておりますが、会長の選出はどのように取り計らえばよろしいでしょうか。
委員	事務局一任でどうでしょう。
坂下係長	ただいま事務局一任という声が挙がりましたけれども、よろしいでしょうか。
委員	はい
坂下係長	それでは、事務局案といたしまして、会長に岡崎篤行委員を推薦させていただきたいと思います。副会長には小林祐玄委員を推薦させていただきたいと思います。ご異存がなければ、拍手をもってご承認いただきたいと思います。
委員	(拍手)
坂下係長	承認いただきましたので、只今、会長に岡崎篤行委員が、副会長に小林祐玄委員が選任されました。新たに会長に選任されました岡崎会長から、一言ご挨拶をお願いします。
岡崎会長	岡崎でございます。誠に僭越ではございますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。 コロナ明けで久しぶりに佐渡に参りましたが、ジェットfoilも賑わってましたし、これからいろいろ明るいニュースがある中、また賑わいが増えていくのではないかと思います。そんな中で、この歴まちが果たす役割も大きいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
坂下係長	ありがとうございます。それでは会議を進めます。 なお、佐渡市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき、本日の会議の議事録を公開することになっていきます。公開にあたっては、事務局でまとめた要旨の方を、出席された委員の方々にご確認いただいた上で、佐渡市のホームページ上に掲載いたします。よろしくお願いいたします。 それでは、本日の会議の成立についてご報告します。

岡崎会長	佐渡市歴史的風致維持向上協議会条例第5条第2項により、「協議会の会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。」とされています。委員は14名であり、本日の出席委員は12名ですので、会議が成立していることをご報告いたします。 本協議会条例第5条により、以後の進行は会長にお願いしますので、よろしくお願いします。
市川主任 岡崎会長	はい。本協議会の任期は2年ですので、皆さまどうぞ2年間よろしくお願いいたします。 議事に入る前に、資料の確認を事務局からお願いします。 【資料確認】 ありがとうございました。 これから議事に入ります。今日の議事が大きく二つあります。令和5年度の進行管理評価と、もう1つは令和6年度の事業計画について、この2つがメインです。 ではまず、議事（1）の令和5年度進行管理評価について、事務局からご説明をお願いします。
市川主任	【資料1】の進捗管理評価シートの説明を行う前に、この歴史的風致維持向上計画協議会の開催の間が大分空きましたので、一度佐渡市の歴史まちづくり事業について振り返りのご説明をさせていただきます。 【別紙1 説明】 それでは、次に【資料1】についてご説明します。 こちらの進捗管理評価シートは、歴まち計画認定都市が実施した計画事業について年に一度、国土交通省に提出するための資料です。本日の協議会の意見を含めた内容を反映し、後日、国への報告や市のホームページへの掲載を予定しています。 進捗管理シートに沿って令和5年度の実績報告を各担当者から行います。
事務局 岡崎会長	【資料1 説明】 ありがとうございました。 初めて委員になられた方もいらっしゃるということで、そもそもの歴まち自体の補足を簡単にさせていただきます。【歴史まちづくり法】のパンフレットをご覧ください。歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画は、佐渡全市の話です。その中で重点区域を決めて、そこで重点的にいろいろな事業を実施することになっていて、その重点区域が相川です。なので、ここにお集まりの皆さまは主に相川のメンバーということになっているわけです。本当は市全体が対象で、例えば将来重点区域を増やすこともできる。そうすれば、また別の地区も対象になる可能

性もある。今、佐渡市は世界遺産のこともあって、相川に力を入れてこの歴まちをやっている、ということです。略称は「歴まち」です。

この歴まち自体は全国で90都市くらい。さらに佐渡市には小木町が2地区目の重伝建に選定を受けそうなところですよ。それから重要文化的景観という制度は、国レベルで歴史的な市街地等を面的に整備するものです。主な制度はこの三つです。この3つとも実施している自治体は、実は全国で、京都・金沢、あとは宮崎の日南と、佐渡。数年前調べたときにはこの4自治体しかありませんでした。ですから、佐渡市が全国的に見てもこの分野で先進地ということがわかります。そして、重伝建地区が一つの市に2地区あるところもそんなにありません。1番多いのが京都・金沢で4地区ずつあり、佐渡は今回2地区になりますけれど、私の個人的な感覚では、湊も赤泊もなれるくらいだと、常々昔から申し上げています。ですから、ぜひ佐渡も将来的には日本一の4地区を目指していただきたいと個人的には思っています。そういった中でのこの歴まち計画、ということです。

それから、もう一つ分かりにくいのは、歴まちの計画を作る前から実施していたいろいろな事業を全部集めて今回の歴まちの計画に書いてあることです。歴まちじゃなくてもできていたもの、できるものも入っている。そこがちょっとややこしくて、歴まちをやったからこそできているものもあるんですが、そうでないものも、とりあえずマスタープラン的に全部リストアップするという仕組みになっているんです。なので、ソフト事業も入っているし、歴まちをやることで可能になったハード整備事業も混ざっている。そこがちょっと分かりにくいですが、いろいろ書いてあるのはそういうことです。

この協議会のコメントも加えて毎年国に提出しつつ、中間報告が結構大変で、それはしっかりしたものを来年度に提出する必要があります。それを目指したプロセスでの今回の皆さんのご意見ということになりますので、よろしくお願いします。

それでは、今のご報告についてご質問ご意見等ありましたら、挙手をお願いします。最初に私からお聞きしたいのですが、8ページの空き家対策の社会資本整備総合交付金の2件です。重点区域だからと書いてありますが、これは歴史的風致形成建造物になっているということでしたか。それともそれとは関係なくですか。

井藤主任

関係は無く、こちらが把握している、相川上町と下町にある歴史的な建物が対象となっております。

岡崎会長

わかりました。どの建物にそういう助成金を出して整備するかは、自治体によって異なります。たとえば村上は、歴まちで決めているエリア内か、歴史的風致形成建造物に指定されている物件だけを基本的には太陽にしているのですが、佐渡市の場合はそうではなく、大事と思われる

	ものは順次やっていく、という感じですね。
井藤主任	はい。
岡崎会長	それともう一つ、18 ページの駐車場の件です。「計画に変更が生じ」について、詳しく、支障のない範囲で教えていただけますでしょうか。
小西補佐	ご説明します。こちらに関しては書いてあるとおりで、駐車場のスペースを確保する予定だったのですが、この地図上の赤く区切られたところの上に、少し出っ張っている施設があります。そちらが観光庁の補助事業で改修され、ガイドの詰所やトイレ等の施設になったため、こちらの駐車場の整備に変更が生じました。この建物自体は取り壊し予定だったのですが、観光庁の地域一帯事業で改装し、観光客が来られる施設に改修したため、駐車場整備が後回しになったという状況です。
岡崎会長	調整をこれからするということですか。
小西補佐	そうです。
岡崎会長	設計変更ということですか。
小西補佐	そうです。そちらも含めて検討しております。
岡崎会長	わかりました。
岩崎委員	今ほど出た駐車場についてですが、もともと新五郎住宅と同じような長屋の住宅が何件も建っていたところだと思うんですよね。多分、それを壊して駐車場にしたと思うのですが、単に駐車場整備だけでなく、長屋があったこと踏まえた整備がされたらいいなと思ったのですが。
小西補佐	はい、今残して改修した施設に関して現在もう工事は完了しており、基本的には現状維持の改装です。観光客が来れるちょっとしたカフェとガイドの詰所、トイレで完成している状況です。大幅な現状変更はしておりません。
岡崎会長	今残っている建物は長屋ではないですよね、確か。今おっしゃったのは、もともと長屋があったという記憶を残したいということですよね。ですから、今後の計画では他に建物は建てないでしょうが、少なくとも解説や説明などをどこかに上手いこと入れられると良いというご意見ですね。それは駐車場の事業なのか、それともむしろ今ある建物の方の NPO とご相談してということなのか、ちょっとわかりませんが。
岩崎委員	せっかくの観光客を呼べる施設、ガイドの施設であり、カフェの部分に観光客も寄ってくれると思うので、そういう部分に当時この土地にあったものの資料とか分かるものが展示されていたり、説明できたり、そういう意味合いです。
岡崎会長	ありがとうございます。小林さんの NPO ではないですよね。

小林副会長

ここで話していいのか分からないんですが、京町に食べ物屋さんとか小さな映画などがあるんですが、歩いてもらうと分かると思うのですが、京町通りは車がすれ違えない。そうすると京町の中の食べ物屋さんや映画館に来る人たちが、弥十郎駐車場に車を停められないと、なかなか大変なんです。

聞くところによると、京町通りに宿泊施設ができるそうなのですが、現状の問題として、今ここの駐車場はいつも満車で車を停められない。それで、食べ物屋さんに来る人たちも、映画を見に来る人たちも、私たちの車はどこに置けばいいんだということになっています。そこで、18ページの図の赤く囲ってある左半分のところを早く駐車できるようにしてほしいという話があります。それから、その上手が駐車場になっているのですが、なんであそこにあれだけたくさんの車があるのか分からない。そういうことをしっかりしないと、それぞれの担当が私たちのところはしっかりやっていますと言ったって、現実には動いて歩いている人たちはその辺が困っています。ここで言えば解決するとは思わないんですが、一応今日会議があつて、皆さんに話したと記録に残しておいてくださればありがたいです。

岡崎会長

事務局から何かコメントありますか。

岩崎委員

もう一つ。今の駐車場のことについてなんですが、この歴まちが始まる前に、世界遺産推進課でワークショップをやったことがあります。世界遺産課で。その時に映画館の人や萩野さんと私、京町の郵便局のAさん（本名）とテーブルが一緒だったんですが、やっぱり駐車場の問題が出ました。その際、京町通りに直接駐車場を造ってしまうと、雰囲気や景観が壊れるんじゃないかということを行ったんです。Bさん（本名）は駐車場がほしい、と言ったときに「ああ、そのとおり。」と思ったらしいのですが。たとえば京町通りの裏側にもう一本の道があり、そこにも多分、空地が点々とあると思うんですが、駐車場にするならそういうような空地が良いんじゃないか、ということを私は言わせてもらいました。

そしてもう一つ、地域住民がこの駐車場を普段から使ってしまうと、観光客が停められないということもあるので、そういう中間にある空地とかを地域住民に使ってもらって、この駐車場は一般の方に開放した方が良いんじゃないかと私は思います。

岡崎会長

なかなか難しい問題ではありますけれども、事務局からコメントはありますか。

小西補佐

様々なご意見をありがとうございます。今、観光振興課としては駐車場が足りないということを認識はしているのですが、今のところ、きらりうむ前の駐車場に車を停めてもらい、パークアンドライドを佐渡市では推進しているというのが現状です。それにともない、循環の無料のバ

岡崎会長	スを走らせていというような状況です。今日、いろいろなご意見いただいておりますので、内部でも駐車場問題について再度検討していきたいと思っております。 いろいろ試行錯誤があるかと思います。これからまた、世界遺産になってお客さんが増えたら益々大変になるので、ぜひご検討をよろしくお願いします。
岩崎委員	観光ガイドの件について、現在、観光ガイドの方たちの年齢層や平均年齢が結構高いという問題があると思うんですが、以前、相川のCさん（個人名）が「ガイドやりましょうか、手伝いましょうか」と言ったときに、「ガイドが余っているからいらない。」と言われたらしいんです。ガイドがいないという話を聞いて行って見たらそういう返事が来たそうおで、その辺の現状をもう少し詳しく聞かせていただきたいです。
岡崎会長 小西補佐	事務局からお答え願います。 現状で把握しているところでは、相川のガイドは20名、そのうち金銀山ガイドが14名、ということになっております。 ふれあいガイドの実際のオペレーションは、佐渡観光交流機構でしておりますので、詳細については観光交流機構の山本さんからお話ししていただければありがたいです。
山本尚代委員	佐渡観光交流機構の山本と申します。相川のふれあいガイドについては、ちょうど今週に総会が終わったところです。会員登録をされている中でお亡くなりになった方がいたり、今年新規で会員登録が3件あったりなど、一進一退の状態が続いていて、なかなか順調に増えるということにはなっていません。その中で、我々もガイド研修をしていますが、やはり、ガイド研修・養成という敷居が高くてなかなか話を聞きづらいという声もいただいています。そこで、まずは相川を含め島内で、どういう方々がどういった取り組みで、実際にはどういうことをやっているのか、その思いや課題、心掛けていることなど、まず現状を知っていただくことから行おうかと今年度は考えています。 実際、小林祐玄先生も相川ふれあいガイドとして活動してくださっていて、それぞれの強みや経験、知見を上手く有効活用していきたいと考えています。どうしても佐渡のガイドは縦割りになっていて、例えばジオガイド、ふれあいガイド、宿根木ガイド、トキガイド、それぞれの強みはありますが、そこを一気通貫してご説明できる方がいなかったり、はたまたご高齢で足が動かしづらくて知見はあるものの活動できないという方がいたりするので、我々が一旦その情報の共有や整備をして、その手配、販売、魅力を知っていただく、というところに繋がればとは思っております。 そこで、まず、今年度は敷居を下げて取り組みを知っていただく、それ

岡崎会長 萩野委員	を日本人に向けながら、増えつつある外国人に向けても、両方やっていきたいと思います。 島外の方からすると、トキガイド、ジオガイドというよりは、「佐渡のガイドをお願いします。」という依頼が増えていますので、佐渡全土の魅力を語れるような人材の育成や、興味を持っていただくということを行っていきたいと思っています。 よろしいでしょうか。 ガイドについては山本さんが説明してくれたとおりで、佐渡にはいくつもエリアがありますが、エリア外でガイドをする人はあまりいません。私は世界遺産の会に入っているのですが、国指定史跡にもなっている古道の西五十里道をやるガイドはほとんどいません。特に鶴子に関してはいないのが現状ですし、その辺トレッキングを含めて、昔は三資産プロモーション室まで作ったわけですから、世界遺産とはいっても観光客は佐渡を求めて来るわけですから、金山だけではなく佐渡を訪れた方に満足していただけるようなオールマイティのガイドづくりを、交流機構さんにはもっと宣伝してほしいと思います。今日もメディアの方が来ているので、書いていただきたいです。分からない人が大勢いるんじゃないでしょうか。こんなに携わっている人が困っているという現状をやってもらいたいと思います。 先日、古道の会の後、宇佐美補佐に「これからガイドの研修はないの。」と聞いたら、「新潟交通さんのガイド研修があります。」ということをしていました。そういう時に一般募集もされると、程度が違うのかもしれませんが、なんとか絡めてやれるんじゃないかな、と素人なりに思いました。もう少し、こんなに佐渡にはガイドが必要だということを、島民の方々にもっと詳しい説明をすれば理解して、トキガイドも金山のガイドになったり、ジオパークのガイドも大勢いらっしゃるわけですので、平たく言うとオールマイティに動けるガイドづくりができるのではないかなと思います。
岡崎会長	先程の駐車場もそうですけど、これも大事な問題だと思いますので、ぜひ全島的に取り組んでいただき、NPO や外部団体も含め、よろしくお願いします。他にいかがでしょうか。
木村委員	実務的なことで恐縮ですが、4 ページの佐渡奉行所整備事業について、十分お考えになっていると思うのですが、参考までにご説明いただければと思います。この建物は遺跡が文化財ですが、上物は文化財ではない。突き放した言い方は良くないですけど、冷静に見れば、その遺構に基づいて再現したものだから、いわゆる現代建築ですね。 だから、それが傷んできたら修理しなければならないのですが、文化財の修理とはちょっと違うところに、もう少し割り切らなければなら

い面がおそらくあるんですね。そういう点を考えながら修理計画を立てられているかどうか。専門家会議も開かれているので、十分に検討されていると思うのですが、ある時代に全国でお城や弥生時代の建物だとかを再現建築することが流行し、今になりそれが大分傷んで修理する時期になってきています。そういう上物の、再現されたものの修理をどうするかはいろいろ議論になっているところで、いたずらに手間はかけたくない、そういう面もありますよね。

そういう点で、他の全国の様子も見ながら、できれば負担のかからないような、傷んだところがもう一遍修理してすぐにまた傷むのではなく、思い切った、割り切ったやり方をとる必要もあるという点が十分に検討されているかをお聞きしたい。

それからもう一点。これは、いわゆる古めかしく造っているだけの新築なわけですので、この復元建築を建てた当時の建築基準法に則ったとすれば、耐震的な措置を取られていたはずなんですね。だから今ここで耐震的な問題があるというのは、どういう面なのか。純粹に復元したためにそういう問題が出てきたのか、あるいは、まさか設計ミスとは思いませんが、その辺りはどうなのでしょう。そこまでの深刻な問題でなく、耐震的にすごく問題があるというよりは多少補強すれば済むことならば、もう少し軽く表現した方がいいかもしれないと思うのですが。

岡崎会長
相田係長

では事務局からお願いします。

ご指摘のとおり、奉行所は復元した建物だということを踏まえて改修等を行っているところです。

また、耐震につきまして、予備診断の結果は、耐震的には概ね健全と見なされるということですが、本来の健全性を回復するための措置として改善する必要があるというふうな形で書いておりますので、重要性で言うと軽いものではないかと考えております。

若林主任

補足をさせていただきます。木村先生のご意見のとおり、復元建造物であり、復元当時の部材や工法を再現するにはかなり無理があるということで、専門家会議でもご意見をいただいております。特に主な点としては、こけら葺の屋根材について、金属板葺への変更はやむをえないという方針で、今年度から実施設計に入っていく計画です。また、外壁等につきましても、もともと土壁や漆喰壁ではなかった箇所を漆喰壁にしたという話も聞いておりますので、相川の気候や風土、今後の維持管理等も考慮して、板壁に変更するという改修方針のもとでの設計を検討しております。

それから耐震のことにつきましても、御役所部分が旧制度の耐震基準の建物ということもありまして、先程の相田係長のお話のとおり、建物の傷みや老朽化で元の耐震機能を有していない部分もありますが、今回

	の改修を経て、今後も公開活用を進めていくということになりますので、新制度の耐震基準に沿った形で耐震診断を行い、修理や耐震補強の方向性を検討しながら実施設計を進めていく予定です。
木村委員	わかりました。耐震の方は、当時耐震対策をとっていなかったわけではなくて、不特定多数の外部の方を入れるために一番新しい基準に合わせるという説明の方が良いなと思います。
若林主任	そうですね。ありがとうございます。
木村委員	それから一点目の問題は、復元はしたものの、すべてを復元したわけではなく、途中で切れている部分があります。本来は部屋の中の壁なのにそれが外に露出し、切った状態で見せている。そういう無理もあったところなので、やっぱり全くそのままでは、本来屋内のものが傷むのは当たり前なので、いろいろと手法を変えて、従来状況では傷んでしまうところは仕様や材料を変えて維持管理できるようにする、という表現だったら、非常にわかりやすいかと思います。
若林主任	はい、ありがとうございます。
市川主任	書きぶりに関しては、この後、担当課と事務局で、もう少し分かりやすい方向で修正させていただきますので、よろしくお願いいたします。
岡崎会長	時間の関係もありますので、あと1人伺って、その後の議題に進んでからまた最後に意見を伺う時間取りたいと思います。
弾正委員	お尋ねしたいことがあります。先程、世界遺産に登録されたときに看板をというお話があり、「相川金銀山」にするようなお話でしたが、この頭に「佐渡」というものが入らないのか、「佐渡相川金銀山」になるのかどうかをお聞きしたい。 もう一つは地域行事のことで、おひなさま祭りを毎年3月にやっています。3月は気候の変動が激しくて、今年も雪が降り大変だったのですが、春一番の相川の行事なので、皆さんがボランティアでやっています。もっとこの事業を大きく佐渡全体にしたいということであれば、もう少し行政からもご協力いただければありがたいなと思っています。 もう一つは、世界遺産は7月頃かというお話がありましたが、宿泊について、佐渡全体でどうなのだろうかと、市民として心配しています。宿泊もさることながら、例えば外食や飲食の件でも、今、外国人も少しずつ来ているので、そういった方々への対応を、これからどうしていったらいいのかと心配しています。
岡崎会長	事務局からお答え願います。
市川主任	地域事業のひなまつりの関係ですが、今回は地域産業振興課の補助で支援させていただいたところですので、地域産業振興課にも本日いただ

弾正委員 小西補佐	いた意見をフィードバックして連携を深めていき、また、歴まち事業とも何か連携できればと思います。引き続き、弾正委員のお力を借りながら、より良い取組みになればと思っております。 次に、看板の標記について、こちらはまだ確定ではありませんので、市、県も含めて、いろいろ相談しながら決めたいと思います。もしかしたら変えないという選択肢もあるかもしれませんが、決まりましたらしっかりと情報を出したいと思いますので、よろしくお願いいたします。 ありがとうございます。 現在、世界遺産登録を見据えて、新潟県と一緒に1週間に1回程度、観光客の対応について定期的に打合せをしています。その中で、宿泊キャパに関しては、お盆などのピーク時にはやはり足りない状況が生まれているのですが、現在のキャパと入り込みの様子を鑑みると、それほど宿が足りない状況はないというのが今のところの見通しとなっております。それと、二次交通が非常に課題となっており、今それに向けて観光庁のオーバーツーリズムの補助金などをいただきながら、周遊バスや両津から相川の直行バスなどを活用しながら、相川までの足を確保するという取組みをしている最中です。 また、宿泊がどうしても足りない部分に関しては、次の日は新潟や上越に泊まってもらうような形で、観光客に来ていただけるような取り組みを、佐渡-新潟、佐渡-上越というような形で、他の地域との連携を計りながら関係自治体とも調整している最中です。
弾正委員 岡崎会長	ありがとうございました。 いろいろなご意見伺っておりますが、それを反映させて国交省に提出するということで、お願いします。 一旦、ここで次の議事（2）来年度の事業計画を伺います。では、事務局からご説明をお願いします。
市川主任	令和6年度の歴まち事業について説明いたします。まずは【資料2】をご覧ください。24個の事業が掲載されていますが、「2-6 街路灯整備事業」、「4-6 レンタサイクル事業」、「4-8 渋滞緩和対策事業」、「4-9 トイレ改修事業」、「4-10 歴史文化啓発グッズ開発事業」は令和4年度までで事業を終えています。現在、歴史的風致維持向上計画における事業数は19となっています。この19事業のうち、令和6年度は、表の中ほどの丸を付した17の事業を行うところです。 それでは、次年度計画事業につきまして、担当から【資料3】の個票を用いて説明いたします。
事務局 岡崎会長	【議事（2）説明】 それでは、令和6年度の計画についてと、先程時間がなくて発言でき

澁谷局長	なかったことがあればお伺いしますので、何かあれば挙手を願います。 佐渡地域振興局の澁谷です。3-①の「地域行事等支援事業」について、ここに記載されているのは代表的なものかもしれないのですが、相川には他にもたくさん小さな集落があり、必ずしも観光客に来てもらうためだけにやっている事業ではなく、子どもたちも巻き込んで引継ぎながらやっている事業もあると思います。「元気な地域づくり支援事業」とありますが、行政の補助金だけが頼りになっていると、続いていけるのか、続けたいという地域があるのであれば、どうしたら続けていけるのか、人に見てもらうにはどうしたらいいのか、ということ在地域の人たちと一緒に話し合いながらやっていただければ良いんじゃないかと思っています。様々な行事があり、時期も規模も違ったりするので、そういうことがリピーターの獲得に繋がったり、今まであまり外に知られていなかった取組みが知られることになって、それがまた地域の人たちの励みになると良いかなと思います。相川全体が対象であるかは聞き漏らしましたが、相川が重点区域だということであれば、北の方から大浦の方まで、そういうところも把握していただければと感じました。
岡崎会長 市川主任	これは何か対象とかが決まっているんでしょうか。 補足の解説をさせていただきます。個票に記載させていただいた事業は、重点区域内、つまり相川の町中と金山の周辺エリアから、下相川から鹿伏までの間の事業ということで4つ、地域産業振興課の事業については2つというところですね。実際のところ、旧相川町のエリアで、他のお祭りや地域行事にも支援している補助金はあるのですが、ここでは、相川の重点区域だけの事業を記載したところもあります。必要でしたら、その辺りの情報も個々確認して情報提供できればと思いますので、よろしくお願いします。
岡崎会長 岩崎委員	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。 二つあります。一つは、(1)の史跡の解説誘導サインについてです。解説誘導サインというのは看板ですか。最初の頃に立てた看板が、デザイン賞を獲っているそうなのですが、観光客からすると見づらい看板で、その辺はどうなっているのかという疑問があります。同じような看板なのか、それともまた違う、見やすいような看板に変更していくような感じなのでしょうか。
岡崎会長 若林主任	お願いします。 相川の町中と遺跡とは、看板のサイン・デザインを変えております。それで、今、遺跡の中では、鶴子銀山と上相川地区に新しいデザインといますか、史跡のデザインとしての看板が立っています。こちらの方は見やすいという評判をいただいていますので、史跡の中はそれで統一

岩崎委員

していくということになっています。

商工会の前にも1基あるのですが、どうしても観光客が傍まで寄ってじっと見るということがあり、余計見づらくなってきているかなと思います。今までもあった看板ももう少し、手直しや整備をしてもらいたいなと思います。

それともう一つ、道路美装化、階段整備、街路灯整備の方は終わっているとのことですが、階段・石段や道路についてです。きらりうむの目の前の北村酒屋の横を通過して階段で上がり、城址公園まで繋がる道があります。そこをもう少しきちんと整備をしてほしいというお願いで、歴まちが始まる前に写真を撮って世界遺産推進課にプレゼンをしたんですが、この市道も相川の防災の避難経路になっています。現在、その階段から道路に水が湧いて人が歩けなくなっています。上の方へ行くと、草が茂り通れなくなっているという状況です。そのあたりの整備は全く考えられていないのでしょうか。

もう一つ、上のバイパスの最後の出口の方に、昔の公園のトイレがあり、今も林の中にひっそり佇んでいます。そのトイレは屋根の勾配が三角屋根で面白い建物です。上の方に一つ公衆トイレがあっても良いんじゃないかということも加えて、あの建物を壊さないで公衆トイレとしてまた復活させたらどうかと伝えました。私はこの会議に入れなかったもので、それがどうなったのか、全然反映されていないなということと、去年市長に言ったときも、支所の方から、良い計画があれば話を聞くようなことを言われました。そのあたりも踏まえて、相川支所にももう少し考えてみてほしいなというところがあります。

先週に写真を撮ってきたのですが、湧き水が湧いて、階段の途中から人が通れなくなっています。階段の上の方も草藪で通れなくなっています。それではちょっと意味がない。歴史のまちづくりでいうと、そこに市指定史跡の黒沢金太郎窯跡という無名異の発祥の窯元の碑も建っています。さらに、上へ行くと昔のお城の石垣のようなものも草藪に隠れているんですね。だから私からすると、相川の道を上がったところが相川を中心、メインになると、私は以前から思っています。公園があったころは、そこからの相川を見下ろす景色がすごく良かったのですが、それが今では景色も見えなくなっていて残念です。そのあたりの整備をしてもらいたいという気持ちがあります。

岡崎会長

事務局から何かコメントをいただけますか。

古屋野補佐

多分、きらりうむから城址公園に抜ける道だと思いますが、現計画は、県道から脇を通過して下町までで終わっています。なので、そこから城址公園までの計画は、今のところ無い状態になっております。そちらの美装化などの計画はございません。その経緯につきましては、私の方では

	存じ上げていないのですが、おそらく散策路のコースを優先して設定したという記憶が微かにございます。
山本雅明委員	相川支所の山本です。今言われたトイレとは、城址公園のことですか。
岩崎委員	昔のトイレを言っています。
山本雅明委員	昔のもので使われていないということですので、歴まちの事業との関係がよく分からないのですが、城址公園については検討していないということではないので、引き続き担当を含めて、岩崎さんからいろいろとご提案をいただきたいなと思っています。
岡崎会長	歴まちに入るかどうかは別としても、いろいろ役所内と地元でまたご検討いただければと思います。
岩崎委員	古屋野さんから散策のコースの話が出ましたが、もともと上に道がなかった時代は、結構、みんなが公園まで行くのにずっと使っていて、本当は良い散策コースにもなるんですよ。それを踏まえてまたいろいろ検討してもらいたいと思います。
岡崎会長	他にいかがでしょうか。
山本尚代委員	先程出たご意見の中に、外国人への対応というのがありました。佐渡観光交流機構としては、外国人もしくは多様な方へのおもてなしということに対してセミナーを、以前に行いました。一応、宿泊施設を対象にしましたが好評で、そのあとにすぐに多言語化に対応した標記を開始した方々もいらっしゃいます。これを一般の方々にも向けて継続的に行っていき、地域全体で多様なお客様に対応できるような体制整備を行っていきたいと考えています。 それと先ほど、澁谷局長から区域外のお祭りもたくさんあるというお話をいただきました。私も調べてみたところ、相川全域では祭りを含めて79ありました。催事をまとめたところで、こういったところで補助金をいただけるところは活用しつつ、ぜひ地域に入り込んで、魅力として一緒に商品を仕立てて、対外向けに発信していくことを積極的にやっていきたいと考えています。
新発田委員	相川地区公民館長の新発田です。建物や道路など、それぞれに今日初めて聞き、大事なことをしていただいているんだと改めて思ったところです。まずは相川地区に住む方々に、歴史的な建物や風致があり、それが大変素晴らしいんだということを実感していただくことが大事ななというふうに私としては思っているところです。 早速、公民館事業として、6月4日に相川郷土博物館へ、出かけますし、その後、そこで相川ウォークなどをやっていく予定です。向上計画ということで、どうしてもハード面の部分が多いかと思うのですが、まずは地元の人たちの思いを高めることが、これから公民館の立場として

	はやっていきたいなと思っています。感想めいたことになってしまいましたが、意見を述べさせてもらいました。
岡崎会長	ありがとうございます。 大体時間になったんですけれども、よろしいでしょうか。
岩崎委員	もう一つ補足を言うと、城址公園はもともとC家（個人名）のものでした。奥さんが亡くなる前に、「(旧) 相川町の町民のために使ってほしいと言って相川町に寄付した」と言っていたのを私は聞いたものですから、余計に城址公園には思いがあります。もともとは、このあたりもみんなC家（個人名）の持ち物だったのですが寄付をしたってということなんですよ。ちょっとその思いがあり、C家（個人名）の棟梁という立場で言わせてもらいました。
岡崎会長	わかりました。ありがとうございます。 それでは、予定の時間にもなりましたので、以上とさせていただきます。もう一つ、議事（3）その他がありますが、事務局から何かありますでしょうか。
市川主任	【議事（3）その他】 佐渡の金山 世界遺産登録スケジュール【別紙2】
岡崎会長	ありがとうございました。 これから、世界遺産になると観光客が増えたりいろいろあると思います。他所を見ているとブームは過ぎ去るといえるのか、そういう良いような悪いような、混乱の後には落ち着くということもあるようです。どんな観光客の方に来て、何を見ていただきたいのかという中身について、一括りに観光客としないで、どういうことを佐渡としては見ていただきたいのかを含めて、持続的な観光について、十分ご議論なさっているとは思いますが、考えていただければと思います。 どうも、ご協力ありがとうございました。では事務局にお返しいたします。
坂下係長	岡崎会長、ありがとうございました。 それでは閉会にあたりまして、小林副会長からご挨拶をお願いいたします。
小林副会長	各委員の皆さま、3年ぶりの対面での会議ということで、お忙しいところご出席いただき大変ありがとうございました。特に、岡崎先生、木村先生、お出でいただきましてありがとうございました。 それから各委員の皆さま、今日はいろいろと報告を聞いて、具体的な課題に即して貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。いくつか課題があると思いました。まもなく、文化遺産の可否が決まるわけですが、私たち佐渡市民は皆さん一丸となって、今日の歴史的風致

坂下係長	地区の維持・向上を進め、世界文化遺産に上手くそれぞれが対応できるように、頑張っていかなければいけないと感じました。 これで閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。 ありがとうございました。 岡崎会長、議事進行をありがとうございました。また、委員の皆さまにおかれましては、ご指導ご意見をいただき、ありがとうございました。皆さまのご意見を踏まえ、今後の事業を進めて参りたいと考えております。ご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。 それではこれもちまして「令和6年度第1回佐渡市歴史的風致維持向上協議会」を終わらせていただきます。大変お疲れ様でした。
------	--